

ラーニングテクノロジー開発室

ニュースレター

WebCT活用授業レポート

ディスカッション機能を利用してレポートのやりとりをしている活用例

今回は、理工学部の正畑伸明先生にお話をうかがいます。

LT どのようにお使いになっているのでしょうか。

正畑先生 情報基礎という科目では、ワードやエクセルで作ったファイルを課題の答案として提出させています。課題の内容は、ワードを使って図や写真を入れた自己紹介ファイルを作成したり、エクセルで数値や式を入力したり、グラフを作成したり、入力フォームやマクロを作成するなどです。エクセルで何をやっているのか、ファイルの中身を私が確認して、コメントを付けて返却しています。きちんとできていない場合は再提出してもらいます。ほとんどの学生が、合格までに2回か3回、ファイルをやりとりしています。このファイルのやりとりにWebCTのディスカッション機能を使っています。ディスカッションの日誌トピックという形式を使い、課題ごとのトピック（提出課題）を指定してファイルを投稿させています。投稿内容は、本人と教員だけが見られるようにして、課題の答案ファイルや、コメント付加して返却したファイル、再提出したファイルが課題ごと個人別にその履歴とともに蓄積されていきます。ファイルの履歴を見れば他人のコピーか分かることもあります。

LT なぜ、課題提出機能ではなく、ディスカッション機能をお使いになっているのでしょうか。

正畑先生 ディスカッションを使うことが良いか悪いかは分かりませんが、提出されたファイルが課題ごとに合格するまで何回も往復し、個人別でまとめられているので、学生個人別の履歴が辿りやすい点

があります。

ファイルの中身をチェックしてコメントを付けて返し、学生が再度提出する機能が実現できるシステムがあれば、別の方法でもかまわないと思いますが、WebCTが手近にあるので使っています。採点が学外からできることも便利ですね。

LT お使いになっていかがでしょうか。

正畑先生 一つの課題について2回か3回往復後に合格することが多いので、学期中の課題数が5題でクラスの人数が84名で、おおよそ1300通のレポートの往復が発生することになります。これだけの数ですと、まず、提出されたものを紙で管理するのは大変です。レポートを集め整理し、返却する手間もありますし、保管する場所も必要です。こういったことがペーパーレスにできるので助かります。WebCTがないとやる気にはなりません。

また、紙のレポートは、返却する時に出席していない学生には手渡せませんが、WebCTだと本人に確実に返せ、土曜日曜も使えて出張先でも自宅でもできる点も利点です。少なくとも、未返却の答案の束を管理する必要はなくなりました。

LT そうですね、答案や採点データをWeb上に置くとどこからでもアクセスができて便利ですし、持ち歩かなくて済む点では安心かと思います。また、学生にとっても自分が提出した答案や返却された答案にいつでもアクセスできることが利点ですね。ありがとうございました。



お知らせ

◆ 2月のLTセミナー&eラーニング懇談会

(八王子キャンパス情報処理センター共催)

☆LTセミナー「WebCT講習会」

- ・日時:2月15日(火) ※午前午後とも同じ内容
午前部 10:00~12:00, 午後部 13:30~15:30
- ・会場:八王子キャンパス 8号館3階 833教室

☆eラーニング懇談会

- ・日時:2月15日(火) 16:00~17:00
- 以上2件の詳細はLTレターやLT開発室のウェブサイトでご連絡いたします。

◆ 大学教育改革プログラム 参加者募集中

平成22年度大学教育改革プログラム合同フォーラムが1月24~25日に秋葉原コンベンションホールにて開催されます。詳細は以下のサイトをご覧ください。

<http://gp-portal/src/ippan/forum/index.cfm>

◆ セミナー・学会・大会等 報告

☆平成22年度情報教育研究集会

京都大学主催による「平成22年度情報教育研究集会」が12月10~11日に開催されました。本学からは、教員4名が参加し、1件の発表を行いました。

詳細はLT開発室のウェブサイトをご覧ください。

☆第67回LTセミナー「第12回授業改善セミナー」

宇都宮キャンパスFD委員会と共催で開催しました。4件の話題提供がありました。

☆第68回LTセミナー「WebCT冬期特別講習会」

八王子キャンパス情報処理センターと共催で開催し、4種類の講習を操作実習を交えながら行いました。

以上2件のセミナーの詳細や資料、ビデオはLT開発室のウェブサイトまたは、WebCTの「eラーニングの広場」をご覧ください。

授業におけるグループ活動の導入



問題解決力やコミュニケーション力は、学力や社会人基礎力などでも重要な能力として位置づけられており、これらを効果的に育成するために、多くの大学でプロジェクト学習を導入した授業実践がなされています。一般に、プロジェクト学習では、グループ単位で一定期間自律的に課題解決に取り組めます。プロジェクト学習は実践知を獲得すると共に、グループ活動により問題解決力やコミュニケーション力の向上が期待できるとされています。

本学理工学部においても、プロジェクト学習が導入されています。たとえば、先日の授業改善セミナーで航空宇宙工学科の大森隆夫先生は、設計製図の実習授業におけるプロジェクト学習を紹介されました。火星探査機の軟着陸用パラシュートを設計するという課題に対して、各学生はグループ内でディスカッションした上で自分のレポートを作成したり、他の人のレポートを参照し合ったりすることで課題解決に取り組めます。また、ヒューマン情報システム学科におけるプロジェクト演習では、Webサイト構築に関する課題などに対して調査活動から解決までグループで取り組んでいます。一般に、グループ学習では、学習活動にほとんど参加しない学生の存在が問題の一つになります。この授業では、グループ内の全メンバーの役

割を明確に設定し各自に責任を持たせることで対応しています。

プロジェクト学習は数週間の授業時間を使って実施する必要がありますが、授業の一部にグループ活動を少しだけ取り入れるだけでも、学習効果を上げることができます。たとえば、宇都宮キャンパスの福田千枝子先生の教科教育法の授業では、模擬授業のための指導案を作成するためにグループディスカッションを導入しています。授業時間外でも円滑に進行するために、ディスカッションをWebCT上である程度進めておき、最終的には対面で行うといった工夫がなされています。また、ヒューマン情報システム学科の実習授業においては、各学生が個別に導いた解を持ち寄り、授業時間中の30分間でグループの解を作るグループ活動を取り入れています。グループ活動を意識して課題に真剣に取り組むことにより学習内容の理解が深まる効果が示されています。

LT開発室では、以上でご紹介したような本格的なプロジェクト学習から小規模なグループワークまで様々なノウハウを蓄積しています。これらの情報を基にしたコンサルテーションを随時受け付けておりますので、ぜひご活用ください。

WebCT Tips

～グレードブックで使える便利なTips～

☆カスタム表示で特定カラムへの値の入力・確認を楽に行う

グレードブックから目的のカラムを見つけるのに便利なのが「カスタム表示」機能です。「カスタム表示」をすると、指定したカラムだけを表示させることができます。

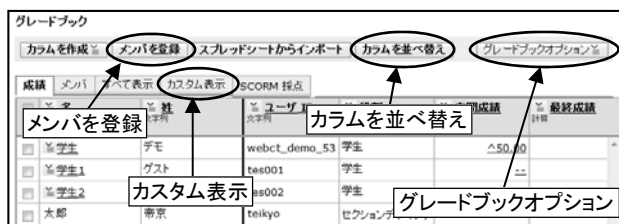
カスタム表示をするには、グレードブックの「カスタム表示」のタブを開いた後、画面上部にある「カラムを並べ替え」をクリックします。その後、カラムに対して表示・非表示の設定をして保存をすると、目的のカラムだけを表示することができます（一括設定もできます）。

☆コースに学生を追加する

コースに学生を追加するには、まず、グレードブックから「メンバを登録」をクリックします。その後「ユーザ名(学籍番号)」と「役割」を選択して「登録」ボタンをクリックし、最後に保存をするとコースにその学生が登録されます。

☆新しいウィンドウでグレードブックだけを開く（※環境によってはできません）

グレードブックだけを新しいウィンドウで開くには、講師タブを開いた後、教員ツールの「グレードブック」のメニューの上で右クリックをし、「新しいウィンドウで開く」を選択します。



WebCTサーバ停止のお知らせ

WebCTの定期保守作業のため、以下の期間中、WebCTサービスを停止します。

3月24日(木) 10:00 ~ 25日(金) 18:00 (予定)

編集後記

夏がとて暑かったので今年の冬はそれ程寒くならないと思っていました。年末年始から続く寒さとセンター試験日の大雪に、期待をうらぎられた気分です。寒さに負けて風邪をひき、皆にうつきぬよう気をつけたいものです。1月より新階創さんを新スタッフとして迎え、皆で頑張っていきますのでよろしく願いいたします。(渡部)



ラーニングテクノロジー開発室連絡先

宇都宮キャンパス本部棟2号館2F 203室

◇室長：熊澤 弘之

◇室員：渡辺 博芳，高井 久美子，古川 文人，及川 芳恵，渡部 里美，新階 創

<http://www.LT-Lab.teikyo-u.ac.jp/>

028-627-7243 (直通)

LT-Support@LT-Lab.teikyo-u.ac.jp

